

仙台メビウス通信



仙台市リサイクルシンボルマーク「メビウスちゃん」

● 編集・発行 仙台市環境局廃棄物管理課
● 電話 214-8227

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

環境事業所で分別博士養成講座を開催しました	1P
シリーズこんにちは推進員さん25	2P
仙台市環境局からのお知らせ	3~4P
メビウスちゃんの豆知識	4P

5月21日の青葉区を皮切りに、各区環境事業所主催の「分別博士養成講座」を開催しました。今年度が初めてとなるこの講座では、各区環境事業所が手作りした射的・釣り堀などを用いて、ゲーム感覚で遊びながら楽しく学習したり、試験形式で自らの理解度を試していただくなど、さまざまな手法でごみの分別に関する知識を深めていただきました。どの区においても、休憩時間も惜しんで職員に質問している参加者の姿があちこちで見られ、推進員の皆さんの分別に対する関心の高さが伺えました。

青葉環境事業所の講座では、割り箸で作った鉄砲的のを狙い、倒した的に描かれたごみを分別する射的を行いました。間違えやすいもの、判断に迷うものが的になっていたので、ごみの正しい出し方に関する職員の説明を聞いて、参加者からは、「複雑だなあ」「今まで間違えて分別していた」などの声が上がっていました。「何十年ぶりだろう」とワクワクしながらの狙う方、的を倒したときの爽快感にやみつきになって何度も挑戦する方など、皆さん思い思いにゲームを楽しんでいたようでした。

「分別博士養成講座」を開催しました

検定試験では、職員が厳選した問題10問に挑戦。参加者からは「勉強になった」との声が多く寄せられました。

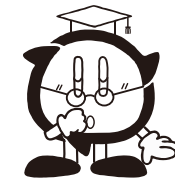
検定試験問題から（正解は4ページ）
古いテレビを許可業者に取りに来てもらうと有料だと聞いたので、指定の引取場所へ自分で運ぶことにしました。家電リサイクル券はどこで購入できるでしょうか。
①コンビニエンスストア
②区役所
③銀行
④郵便局



各区環境事業所では、今回の講座のように、ごみの分別方法を楽しく学べる「出前講座」を実施しています。詳しくはお問い合わせください



メビウスちゃんの豆知識



Q 「缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類」の日に出せるペットボトルの種類は決まっているって、本当？

A 「PET」のマークが付いたペットボトルは、とても品質の良い原料になるため、プラスチック製容器包装とは別にリサイクルするルートが整備されているんだ。

ペットボトルが品質の良い再生品に生まれ変わるには、中身や臭いをきれいに除去する必要があるけど、オイル成分が付着したものなどは、洗浄にエネルギーや手間が余分にかかってしまうため、「水などで簡単に洗浄できるもの」だけが指定されているんだよ。

だけど、みんなが分別するときには、指定されたペットボトルかどうか見ただけでは分からないものもあるから、右記の識別マークを目印にしてね！



最後に、みんなはもう知っていると思うけど、ペットボトルの出し方のおさらいをしま〜す。

①フタをはずす
はずしたフタはプラスチック製容器包装へ

②水で軽くすすぐ

③ラベルをはがす
はがしたラベルはプラスチック製容器包装へ

④つぶす

⑤指定日に黄色の回収容器へ出す（種類別に分ける必要はありません）

環境事業所のご案内

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300

●●編集後記●●

◆夏はこれからですが、現在、秋に実施する施設見学会の計画を立てています。ぜひ、お申し込みください。(案内は9月頃に送付する予定です)(包)

◆4月より、クリーン仙台推進員の担当として、地域のリーダーとして活躍されている皆さんのお手伝いをさせていただくことになりました。これからいろいろな場面でお会いすることになると思いますが、よろしくお願いたします。(相澤)

地域の環境学習に「仙台市環境出前講座ネットワーク」をご利用ください

大学教授等が環境に関する出前講座を実施します。環境に関する幅広い講座の中から、ニーズに合ったものを選びます。講座内容や申込方法など詳しくは、市ホームページまたは環境交流サロン(小田急仙台ビル9階)、市政情報センター(市役所1階)等で配布

3 「3R講師派遣事業」をご利用ください

地域の皆さんのごみ減量・リサイクルの推進等に関する研修に講師を派遣します。詳しくは、同封のチラシ「平成24年度3R講師派遣事業」をご覧ください。

(問)環境交流サロン214・123

成24年度3R講師派遣事業」をご覧ください。

(問)アメリティ・せんだい推進協議会事務局(ごみ減量推進課内) 214・8230

●1ページ「検定試験問題」解答
購入時は、メーカー名・型式を正確に確認してください。

こんにちは推進員さん
「百聞は一見にしかず。見学したからこそ分かる、分別の大切さ」

勝山町内会

「うちの町内は、ごみ出しのルールを守ってくださる方が多くて、集積所は基本的にいつもきれいなんですよ。見回りは気づいたときにする程度で十分なんです。」と語るのは、クリーン仙台推進員の佐藤朋子さんと明石エイ子さん。明るく行動力に長けたお



左から、明石さんと佐藤さん。意思疎通は抜群です

二人は、町内会でも頼りにされる存在です。

勝山町内会は町内の交流が盛んです。町内で発生するさまざまな問題は、週1回開催される役員会で各班長から報告されます。すると、各役員が役割に応じて問題解決に当たります。佐藤さんと明石さんもクリーン仙台推進員として積極的に役員会に出席、他の役員の方と情報交換を図るほか、ごみや衛生に関する問題があったときには、解決に向けてすぐに行動を開始しています。以前、「缶やびんなどが夜に出され、音がうるさい」との苦情があったときにも、翌日には見回りを実施。その結果、時間外にごみが出されることもなくなり、すぐに解決したそうです。お二人がクリーン仙台推進員になったのは、平成20年10月のごみ有料化が開始された頃。佐藤さんが、たまたま集積所に間違っ

ら推進員になっていたとのこと。しかし、推進員になったからには、と持ち前の行動力ですぐに活動を開始しました。

佐藤さんと明石さんがまず行ったのは、分別されたごみの行方を知ること。プラスチックリサイクル工場や松森資源化センターでプラスチックやペットボトルのリサイクル工程を見学しました。見学した結果は、写真、図、イラストなどを使って子供にも分かりやすくまとめ、「クリーン仙台情報」として地域の皆さんに報告を兼ねて広報しました。

「混入した異物を手作業で一つ一つ取り除かないと、リサイクルはできません。分別の不徹底で作業員が大変な苦勞をしていることをこの見学で実感しました。ただ呼びかけるだけでは効果がありません。現場での手間と苦勞が分かれば、自然と日々の生活でも分別に気を付けるようになると思えます。もっと多くの人にぜひ見てほしいです。」

学したいというお二人。推進員としての責任感が言葉の端々に伺えます。お二人のその姿勢こそが集積所をきれいにさせているのでしょう。

ごみの収集後、プラスチックごみは、どのように処理再利用されていくのでしょうか。若林資源生にあるリサイクル工場で処理を行います。(ここはプラスチックのみの処理場。ここは、仙台市のすべてのプラスチックごみが集まります。)

① 毎日、約1tのプラスチックごみが集まります。

② トラックで運ばれたごみは、重機式のベルトコンベアで分別される。種類によって異なります。

③ コンベアで上がったごみは、すべて手作業で処理を行います。(ここが、初期分別処理)

④ 分別されたごみは、資源化センターでリサイクルされます。

⑤ ごみの外側を洗浄し、リサイクルします。

皆さんが出している、『プラスチックごみ、ペットボトル』が、回収後どのように処理されるのか工場に行ってきました。

みんな一緒だよ!!

Green Tag(グリーン タグ)!! みんなごみに対して1つずつです。今日は、安全ちゃん達と一緒に、回収後のごみがどのようになるのか見てみたいと思います。

※ワケル君とは、平成14年度に「100万人のごみ減量大作戦」のキャラクターとして登場。「ワケル」が「ワケ」で「ワケ」は「ワケ」です。ごみの分別を呼びかけます。

佐藤さんが作成した「クリーン仙台情報」。思わず手に取ってみたくなる仕上がりで

仙台市環境局 かみのお知らせ

化粧品空きびんもリサイクルできるよつになりました

化粧品の空きびんは、材質が他のびんと異なるため、これまで「家庭ごみ」として出していたが、材質改善が進みリサイクルが可能となりました。

今年度から、化粧品の空きびんは「缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類」の日に回収し、リサイクルすることになりました。地域の皆さんへの分別の普及・啓発にご協力をお願いします。
(問)ごみ減量推進課214・82209

「活動報告書」の提出はお済みですか

推進員の皆さんには、毎年、活動状況を報告いただいています。今年も先月、5月1日現在の推進員の皆さんに活動報告書提出の依

「仙台☆スマートハウス補助制度」を始めました

「太陽光発電+蓄電池+省エネ機器」(3点セット)の導入を支援する制度です。

●対象は市内の居住用住宅に次の①～③のすべてを導入する方
①太陽光発電システム(出力0.5キロワット以上)／②蓄電池(容量1キロワット時以上)／③家庭用燃料電池(エネファーム)・家庭用ガスエンジン式コージェネレーション(エコウィル)・地中熱ヒートポンプのいずれか1つ
●補助金額は上限40万円
●申込期限は平成25年1月31日
●申請方法など詳しくはお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。
(問)環境企画課214・8232

食器洗浄車「ワケルモービル」を貸し出します

洗って何度も使えるリユース食器と食器洗浄機を搭載したワケルモービルを利用して、イベントから出るごみを減らしましょう。



- 対象は市内で飲食を伴うイベントを主催する地域団体、学校、NPOなど
- 搭載している食器=皿、どんぶり、コップ、箸、スプーン(各180セット)
- 利用料=1日当たり1,000円
- 貸出・返却=葛岡リサイクルプラザで、原則としてイベント当日の午前9時10分～午後4時(運転手は使用団体で準備)
- 貸出しには要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。
(申・問)利用日の6カ月前から電話で、ごみ減量推進課214-8230

「ワケルくんバス」で市の環境施設を見学しませんか

- 対象=20～40名の町内会、老人クラブ、子ども会などの団体
- 運行日=月～金曜日(祝休日、年末年始を除く)
- 時間=午前10時～午後3時で希望する時間
- 見学場所=ごみ焼却工場、資源化センター、埋立処分場ほか(指定場所へ送迎)
- 利用料=無料。昼食は各団体が準備
- 見学場所・運行日程など、詳しくはお問い合わせください。



(申・問)利用日の6カ月前から電話で、ごみ減量推進課214-8230